

マスコミ各位

平成30年2月21日（水）

沖縄県保健医療部地域保健課 結核感染症班

担 当：山内、仁平

電 話：098-866-2215

インフルエンザの流行状況(第4報)について ～患者が再び増加しています～

1 概要

感染症発生動向調査による本県のインフルエンザ定点あたりの報告数が、平成30年第7週（2月12日～2月18日）に、56.67人（定点医療機関57カ所、報告数3230人）となり、患者が増加していることから、改めて注意喚起を行います。

本県では、第1週（1月1日～1月7日）にインフルエンザ警報を発令後、第3週（1月15日～1月21日）をピークに患者は減少しておりましたが、第5週（1月29日～2月4日）以降、再び増加に転じております。

第7週に報告されたインフルエンザウイルスの型別割合は、A型49.0%（1583/3230）、B型44.7%（1444/3230）となっています。また、年齢別では、5～9歳が562人（17.4%）で最も多く、次いで10～14歳489人（15.1%）、1～4歳404人（12.5%）、の順となっています。

また、平成30年第1週から第7週までに、県内の医療機関より10例の急性脳炎患者が報告され、そのうち6例がインフルエンザウイルスを原因病原体として報告されています。これは平成26年以降の同時期の比較では、最も多い数となっています。6例の患者の年齢は1～7歳となっています。

県では、毎年インフルエンザの予防及び蔓延防止を図るため、注意喚起のチラシを作成し、関係機関へ配布しております。チラシは沖縄県感染症情報センターホームページからダウンロードできます。マスコミの皆様もインフルエンザの予防等の周知について、ご協力いただきますようお願いします。

※インフルエンザ流行についての情報は、以下のサイトもご参照下さい。

沖縄県感染症情報センターホームページ

<http://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/eiken/kikaku/kansenjouhou/home.html>

沖縄県地域保健課 Facebook（こちらでも随時情報を発信しています）

<https://www.facebook.com/regional.health.pref.okinawa/>

国立感染症疫学センターホームページ

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>

2 インフルエンザの患者発生状況

感染症発生動向調査事業において県内のインフルエンザ 58 定点医療機関(小児科定点:34、内科定点:24)の協力を得て、患者情報を週単位で収集し、全国約 5,000 カ所の定点情報と併せて分析し、県民及び医療機関に情報を提供しています。

なお、2018 年第 2 週以降の県内インフルエンザ定点医療機関数は、57 (小児科定点:34、内科定点:23) となっています。

(1) 定点当たりの患者報告数 (直近の 7 週間)

	週	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週
		1/1 ~1/7	1/8 ~1/14	1/15 ~1/21	1/22 ~1/28	1/29 ~2/4	2/5 ~2/11	2/12 ~2/18
県	患者数	1842	2319	3706	3238	2584	2896	3230
	定点当	31.76	40.68	65.02	56.81	45.33	50.81	56.67
全 国	患者数	79930	130682	256833	259063	268811	223928	
	定点当	16.31	26.44	51.93	52.35	54.33	45.38	

※感染症発生動向調査システム上の警報・注意報の発令基準値

流行注意報：定点当たり 10 人以上

流行警報：定点当たり 30 人以上

第 7 週の保健所別定点あたり患者報告数は、那覇市保健所が 82.82 で最も多く、次いで八重山保健所 69.33、南部保健所 66.21、中部保健所 48.00、北部保健所 30.20、宮古保健所 18.25 の順となっています。那覇市及び南部保健所の報告数は、今シーズンではこれまでに最も多い数となっています。

(2) 県内の型別患者報告数 (直近の 7 週間)

週	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週
	1/1 ~1/7	1/8 ~1/14	1/15 ~1/21	1/22 ~1/28	1/29 ~2/4	2/5 ~2/11	2/12 ~2/18
A 型	1192	1475	2157*	1744*	1330**	1469	1583*
B 型	515	622	1161*	1182*	1038**	1183	1444*
不明	135	222	391	315	221	244	206

* 3 名は医療機関より A B 共に陽性として報告

** 5 名は医療機関より A B 共に陽性として報告

(3) 年齢別患者報告数 (第 7 週)

年齢群	0 歳	1~4 歳	5~9 歳	10~14 歳	15~19 歳	20~29 歳	30~39 歳	40~49 歳	50~59 歳	60 歳以上	合計
患者報告数 (%)	45 (1.4)	404 (12.5)	562 (17.4)	489 (15.1)	243 (7.5)	254 (7.9)	289 (8.9)	340 (10.5)	215 (6.7)	389 (12.0)	3230

(4) 休校、学年・学級閉鎖の状況

第7週は、学年閉鎖4校（北部保健所管内幼稚園：1、北部保健所管内小学校：1、那覇市保健所管内小学校：2）、学級閉鎖17校（北部保健所管内高等学校：1、中部保健所管内小学校：4、中部保健所管内中学校：4、中部保健所管内高等学校：1、南部保健所管内小学校：3、南部保健所管内中学校：1、那覇市保健所管内小学校：2、那覇市保健所管内高等学校：1）が報告されています。

(5) インフルエンザによる急性脳炎患者報告数（第1週から第7週）

年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
急性脳炎患者報告数	1	2	3	0	10
うち、原因病原体をインフルエンザウイルスとする患者報告数	0	2	2	0	6

3 県民の皆様へのお願い

今後もインフルエンザ患者の増加は継続する可能性が考えられます。更なる流行拡大を抑えるためにも、不要不急の外出を控えてください。

園児及び生徒の皆様は、インフルエンザを発症した後5日を経過し、かつ、解熱したあと2日（幼児にあっては3日）を経過するまで、登園及び登校は控えてください（沖縄県では、登園及び登校に際してインフルエンザ治癒証明書を求めることは控えるようお願いしています）。

また、急性脳炎の患者が増えていることから、少なくとも発症から2日間、保護者の方は小児・未成年者が1人にならないよう配慮をしてください。

加えて、「手洗い」や「咳エチケット」、「インフルエンザワクチンの接種」などの感染予防策の徹底をお願いします。

○インフルエンザの感染予防策

（流行時の予防方法）

- ① 食事の前や帰宅後には、必ず「手洗い」をしましょう。
- ② バランスよく栄養を摂取し、十分な睡眠をとりましょう。
- ③ インフルエンザの予防接種を受けましょう。
- ④ 「咳エチケット」を実行しましょう。
- ⑤ 室内の換気に気をつけ適切な湿度を保ちましょう。
- ⑥ インフルエンザが流行しだしたら、不要不急の外出を避けましょう。

○インフルエンザに罹ってしまったら

- ① かかりつけ医にまず相談、受診しましょう（救急医療をつぶさない）。
- ② 感染を広げないために、会社や学校を休み、安静にしましょう。
- ③ マスクを着用し、咳やくしゃみをする時は「咳エチケット」を守りましょう。